オティックスグループ

環境報告書

Environmental Report 2019

2019

OTICS

ごあいさつ

オティックスグループは、エンジン機能部品を中心とする自動車部品を生産しております。そして、これらの部品の機能、特性が、自動車の環境性能向上に寄与していることを十分認識し、日々研鑽を積んでおります。

近年グローバルでの異常気象は、世界各地での集中豪雨や大洪水の頻発、一方アフリカでの干ばつ等相反する災害が発生しています、国内においても岡山県倉敷市集中豪雨など百年に１度の異常気象との報道を耳にします。原因は特定できないまでも地球温暖化との結びつきを否定することは出来ないでしょう。

当社は以前より継続的に「環境取り組み３ヵ年プラン」を展開してまいりました。２０１９年度は、第７次の「環境取り組み３ヵ年プラン」初年でもあり、環境の四本柱である「地球温暖化対策」、「循環型経済社会の構築」、「環境負荷物質管理」、「環境意識強化活動」に挑戦します。昨年は、創業100周年記念事業の一環としてｵﾃｨｯｸｽ西尾　寺津工場にて『ｵﾃｨｯｸｽの森』3回目の植樹を実施しました。　『ほんものの森』を目指し取り組みを継続的に実施していきます。

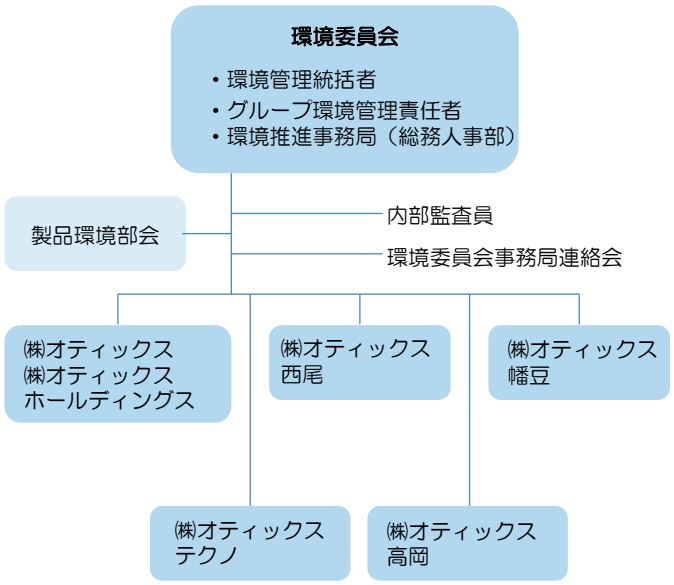
当社はこれらの改善活動をご理解いただくためにも、環境コミュニケーションをより重視してまいります。

引き続きご理解とご鞭撻をお願いいたします。

2019年4月　代表取締役社長　小田井勇樹

グループガバナンス

当社は、グループ全体で環境活動および社会貢献活動を展開しています。



社是・経営理念

Ⅰ．社是

『和と努力』　Harmony &Effort

●顧客→顧客との和／品質への努力
●技術→技術と人間の和／技術革新への努力
●社会貢献→地域社会との和／企業文化創造への努力
●ヤングスピリット→伝統と革新の和／
　各自の創意工夫の努力

Ⅱ．経営理念

『和と努力』を基とし、常に創意工夫をもって、品質の向上、コストの低減に努め、会社の繁栄と社員の幸福を図り、社会に貢献する。

認証取得

当社は全グループ会社で下記の認証・登録を取得しています。

認証・登録	認証・登録日	認証・登録番号
ISO9001	1998年3月登録	JQA-2191
ISO14001	2001年5月登録	JQA-4812
ISO/TS16949	2006年6月登録	JQA-AU0126

●環境委員会

3ヵ月に1度、環境管理統括者、グループおよび各社環境管理責任者、環境委員会事務局連絡会メンバーが環境取組み３ヵ年プランの推進および環境マネジメントシステムの運用状況の確認を行います。また、環境関連法規制、ISO14001　2015年版の継続に伴う課題の対策などを行います。

●環境委員会事務局連絡会

３ヶ月に１回、環境推進事務局、各社担当課メンバーにて環境委員会の協議内容の進捗確認および省エネルギー委員会の報告、情報共有を行います。

現場への展開は、各社担当課に選任された省エネルギー委員会が行っています。

コンプライアンス管理として、各社で環境管理責任者に任命された法定管理者、法定責任者を置き、法で定める役割、責任を果たすための権限を与えています。

環境方針

オティックスグループ（以下当社）は、かけがえのない自然の大切さを認識し、地球環境の改善が事業活動の最重要課題の一つであると位置づけています。

当社はエンジン機能部品の専門メーカーとして精密部品を生産していますが、その生産活動、製品が環境に深く関わっていることを踏まえ、地域環境のみならず地球環境保全のために環境負荷低減を積極的に展開します。そのため、環境マネジメントシステムを構築し、全従業員参加のもと継続的な改善及び汚染の予防を推進します。

1．当社に適用される環境側面に関連する法律・協定・ガイドライン・業界規範等の要求事項を遵守し、並びに生物多様性及び生態系の保護を含む活動で地域との環境調和をはかります。
2．当社は環境負荷を低減するため環境目的及び目標を設定すると共に、全従業員一丸となって継続的に改善を推進します。
3．当社で働く全従業員、又は当社のために働く全ての人に本方針を周知させるため、教育・啓蒙活動を行います。
4．本方針は文書化し、要求があれば一般の人にも開示します。

改定日：2019年4月1日
株式会社オティックス
代表取締役社長　小田井勇樹

環境保全の４本柱

当社はエンジン動弁系部品専門メーカーとして、全員で循環型社会の構築を目指します。
環境取組みは２０１９年４月に第７次３ヵ年プランを立て、環境コミュニケーションの推進を実施して右記の活動を行っています。

1．「地球温暖化対策」
前年度に比べCO2　１%削減を目指します。
製造設備の省エネルギー対策や生産性を向上させることで実現します。

2．「循環型経済社会の構築」
前年度に比べ産業廃棄物　３%削減を目指します。
最終的に埋め立てられる産業廃棄物を限りなくゼロにしていきます。

3．「環境負荷物質管理」
製品含有化学物質の管理を強化いたします。

4．「環境意識強化活動」
法・自主基準値以内の汚染防止に取り組みます。
地域交流、環境情報の公開、生物多様性に全力で取組みます。

製品開発での環境配慮

製品の粗材、生産、使用、回収・再生を考えた開発に取組んでいます。

●粗材（回収・再生）

環境になるべく負担のかからない、人や環境に優しい材料の使用を目指します。関連する部署と協力し、使用する材料に汚染物質が含まれていないか確認しています。

●製造

使用するエネルギーを減らし廃棄物をなるべく出さない設計を目指します。会社全体で製品の設計内容を確認しています。

●使用

部品を軽くしたり、摩擦力を小さくしたり、 自動車が少ないガソリンでたくさん走れるような部品の設計を目指します。

生産工程設計の環境配慮

製品の品質、生産量、コストを満足させる生産工程の設計を行っています。また、使用するエネルギーを少なくするなど、環境に配慮した設備を導入しています。

１．エネルギー使用量を減らした設備づくり

①生産設備をスリム化（小型化）する
②エネルギー消費の少ない機器を導入する
③複数の工程を同時に加工する「複合設備」を導入し、設備の台数を減らす
④電気使用量の大きいエアーブローを減らす 。

２．環境に配慮した設備づくり

①新しい生産設備を導入する際に使われなくなった設備は改造して利用する。
②近隣の住民、従業員の健康や快適性に配慮した騒音の少ない設備を導入する 。

環境への取組みと実績

1．汚染の予防

◇汚染予防の取組み

排水設備の維持管理（日常点検　毎日・毎週・毎月）、定期点検及び法定点検・整備を実施しました。

また、啓蒙訓練として緊急対応訓練及び環境一般訓練を実施しました。取組みにより汚染の予防で社内基準法基準で基準値オーバーなどありませんでした。

今後も汚染を予防する活動を継続して取組みます。

2-ｉ．CO2排出量低減の取組み

◇CO２排出量低減

２００７年からの（社）日本自動車部品工業会目標値に対して削減を取組んできました。

各社でCO2低減改善活動を実施してきました。

第８次環境自主計画：JAPIA（社）日本自動車部品工業会の目標値に対し長期での取組みを含め取組んできました。

$$\text{CO2排出量} = \frac{\text{エネルギー消費量}}{\text{加工高原単位}}$$

改善事例発表会

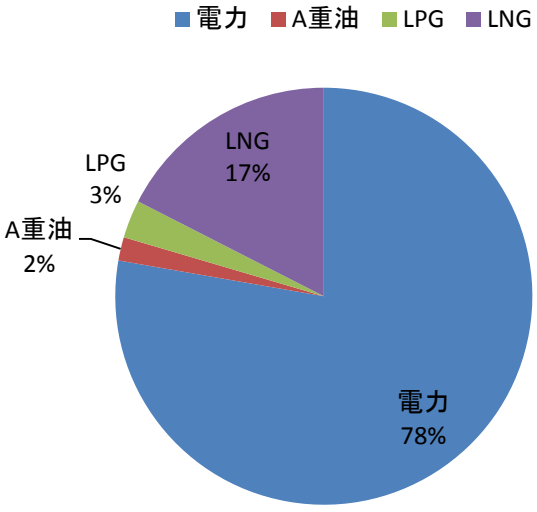


図1　エネルギー消費割合（2018年）

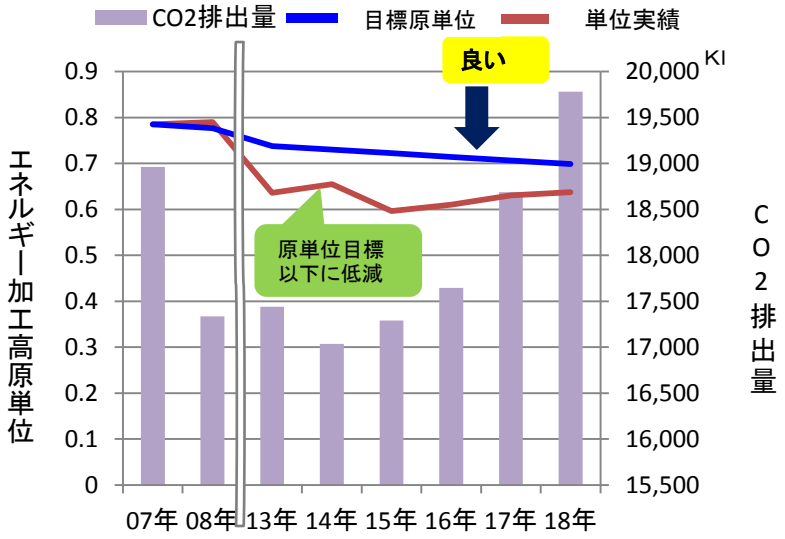
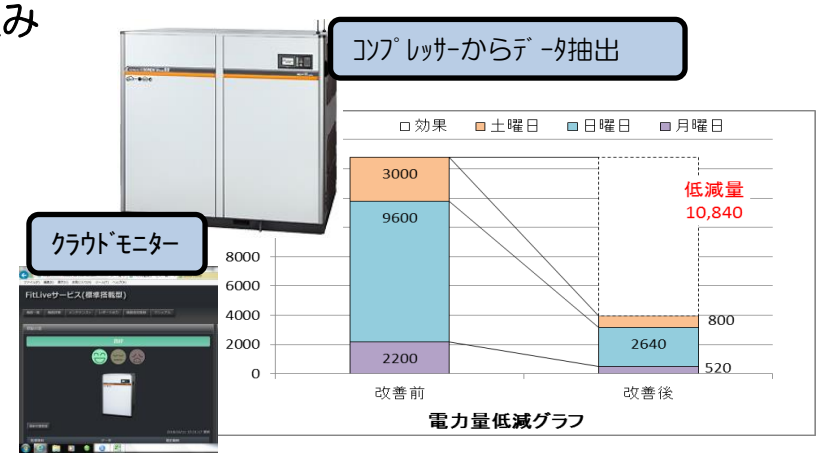


図2　CO2排出量状況

2－ⅱ．CO2排出量低減の取組み

◇CO2排出量の低減事例

2018年度CO2低減活動の取り組みのひとつとして、コンプレッサー稼働における休日電力量の低減を取り組みました。
高岡工場は　休日でも工場付帯設備が稼働している為コンプレッサーを全停止する事が出来ない。ライン側でエアー使用が無くてもコンプレッサーを稼働させている状態である。(集中タンク・油性集中タンク)
現状の負荷に対応したインバーターコンプレッサーを導入して休日固定電力(補機動力)を削減した。
①スマホで監視②データ解析の簡素化
(クラウド監視化)



3　産業廃棄物低減の取り組み

◇産業廃棄物排出量の低減

2007年からの目標値に対して削減を取組んできました。原単位では目標を達成できました。

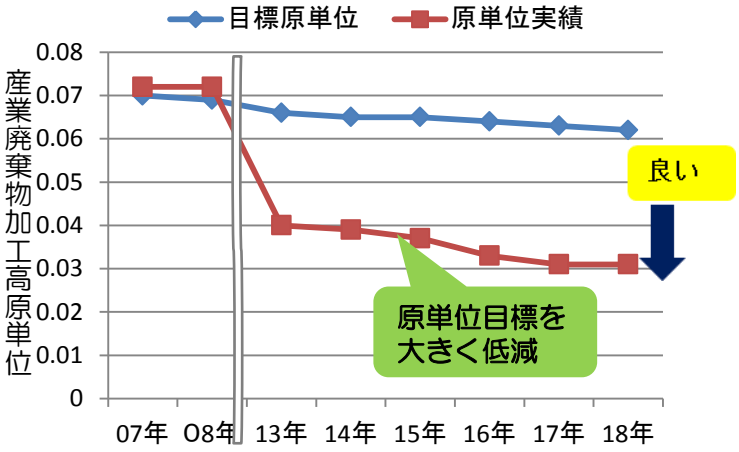


図3　産業廃棄物加工高原単位の推移

＜産業廃棄物排出量の低減事例＞

ﾃｸﾉ機械課のNC旋盤群のクーラント交換を仕事の負荷・臭い・色などにより、作業者の判断で交換実施していた。機械課1組　NC旋盤群クーラント液　更液基準実績表を作成することにより、明確な交換基準を設定した。また、週初めの設備点検・暖機運転時にクーラントを撹拌し腐食を防止するルールを取り決め廃液を低減した。

クーラント液更液基準実績表

生物多様性の取り組み

2018年6月16日に、西三河南部生態系ネットワーク協議会連携事業にてヨシ植え体験会に参加致しました。

ヨシの生息域が少なくなり、ヨシの育成が必要との説明を受けました。ヨシ植えを実際体験しヨシの大切さをしっかり理解してもらえました。

鳥・かに・小魚の住める場所が少しずつ増えていくことに喜びを覚えました。今後も生物多様性への取り組みを進め、地域の生態系保全、自然環境保護に努めてまいります。

改善活動及び緊急対応

当社は、従業員の環境意識向上のため社内外のイベントを通して環境活動の重要性を伝えています。

エコ活動事例発表会

当社では、毎年「エコ活動事例発表会」を実施し、各社で実施した省エネ、CO2排出量低減活動を共有しています。実施内容の効果の検証および全社展開、他設備への展開に役立っています。

緊急対応訓練

当社では、地域貢献活動として、災害時に技術本館を緊急避難所として提供すること、災害停電時に自家発電電力を提供すること、災害用備蓄品を提供することをお約束しています。

環境ボランティア活動

当社では、西三河南部生態系ネットワーク協議会に会員参加し、外来種駆除・生態系保全等各種行事にボランティア参加をしています。

外来種調査（生物）

当社では、協議会からの案内を受け、ボランティアに参加をしました。外来種駆除でミシシッピアカミミガメ（みどりがめ）を生態調査に参加しました。

外来種調査の様子

外来植物駆除

矢作川河川敷きで外来植物の駆除に参加。オオキンケイギク（外来種）は、繁殖力が強く日本古来の植物に影響を与えています。

オオキンケイキク駆除活動への参加

地域との関わり

当社は、従業員の環境意識向上のため社内外のイベントを通して環境活動の重要性を伝えています。

オティックスフェスタ

オティックスフェスタでは地域の皆様と従業員とのコミュニケーションを推進しています。

近隣の住民の方にお越し頂き、毎年夏まつりを楽しんで頂いています。

オティックスフェスタの様子

オティックスフェスタで環境コーナーを設置

環境コーナーでは環境クイズや、お子さん用ぬりえなどの実施しました、またエコキット（ダンボール）の作成など家族みんなで楽しく作成しました。

環境コーナー　エコキット作成の様子

地域貢献活動（本社西尾地区）

当社では、自治体および地域の代表者にお越しいただき、会社概要、環境取組み、工場見学、意見交換会を実施しています。地域の代表者からは、地域の環境活動のけん引役、雇用の増加についてご要望がございました。

本社西尾地区　環境活動報告の様子

地域貢献活動（オティックス幡豆）

当社では、自治体および地域の代表者にお越しいただき地域に根ざした企業の要望がありました。行政からは、苦情の有無について質問があり、積極的情報公開で地域とのコミュニケーションを継続していくよう要望がありました。

オティックス幡豆　工場活動説明の様子

お客様との関わり

当社は、自動車業界およびお客様からの要求事項にお応えします。

（社）日本自動車部品工業会　第８次「環境自主行動計画」（2016年4月1日改正）

（社）日本自動車部品工業会では、環境問題への対応を重点対策としてとらえ、地球にやさしい環境作りを推進するために環境自主行動計画を定めています。

1.CO2排出量

目標：2020 年までに 13%低減（2007 年度比）
実績：2018年までに、2007年度比18.8%低減し目標を達成しました。
当社では2018年度は各社省エネ改善活動を実施し着実なCO2排出量低減を実現しました。

2.産業廃棄物量

目標：2020年度までに生産工程から発生する廃棄物の最終処分量を68%削減（2000 年比）、および再資源化率85%以上とする。
実績：2018年までに、最終処分量76.4%削減し目標を達成しました。

2018年度の改善活動として、ﾃｸﾉ機械課のNC旋盤群のクーラント交換を　更液基準実績表を作成することにより、明確な交換基準を設定した。また、週初めの設備点検・暖機運転時にクーラントを撹拌し腐食を防止するルールを取り決め廃液を低減した。

3.揮発性有機化合物排出量（VOC）

目標：2020年度までにVOC排出量を30%削減（2000年度比）。有害大気汚染3物質(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン)は95%削減（2000 年度比）する。
実績：2018年現在対象物質は全廃しました。

顧客　グリーン調達ガイドラインへの対応

当社はトヨタ自動車㈱をはじめ客先がサプライヤー企業との連携を強め、真の持続可能な社会の実現に向けチャレンジするために発行しているグリーン調達ガイドラインの要求事項に対して活動しています。

仕入先様との関わり

コンプライアンス、環境保全のために仕入先様を訪問し現場環境の確認を行っています。

確認項目は以下のとおりです。

●油保管状況：水溶性油保管状況、油性油保管状況
●薬品保管状況：排水薬品、工程薬品（フラックス剤・硫酸・硝酸など）
●切粉捨て場状況：リサイクル状況、保管状況（流出の有無）
●排水分離状況：工場内処理の有無
●騒音・振動に関する苦情の確認：境界敷地近隣の状況（民家の有無、騒音発生設備の有無）
●SOC4（鉛、カドミウム、水銀、6価クロム）、SOC10（SOC4＋PBBs･PBDEs ･DEHP･DBP･BBP･DIBP)の対応状況：根拠書類の有無、分析シートの請求と補完
●溶剤（塗料など）の管理状況：VOC･規制物質の有無など
●環境改善：ISO14001の取得状況、エネルギーの削減状況、環境月間における取り組み

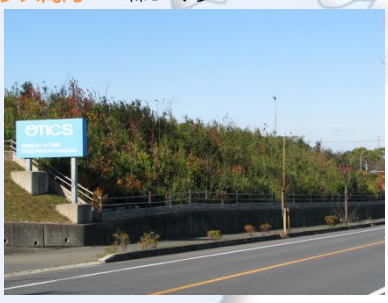
グループ活動マップ

㈱ｵﾃｨｯｸｽ本社西尾地区・・・森づくり

㈱ｵﾃｨｯｸｽ本社　技術本館・・・清掃奉仕活動

㈱ｵﾃｨｯｸｽ高岡・・・森づくり

株式会社オティックス高岡・・森づくり



株式会社オティックス
株式会社オティックスホールディングス
株式会社オティックステクノ
株式会社オティックス西尾
平坂工場
江口工場
寺津工場

株式会社オティックス幡豆

株式会社オティックス幡豆
蒲郡工場

㈱ｵﾃｨｯｸｽ西尾・・・清掃奉仕活動
6月･10月に工場近隣の美化活動に参加

㈱ｵﾃｨｯｸｽ幡豆・・・清掃奉仕活動
工場周りの美化活動に参加

㈱ｵﾃｨｯｸｽ西尾…地域懇談会

㈱ｵﾃｨｯｸｽ幡豆…地域懇談会

お問い合わせ先

株式会社オティックスホールディングス
総務人事部　安全・環境グループ
〒444-0392　愛知県西尾市中畑町浜田下10番地
TEL.0563－59－6481　FAX.0563－59－3325